

DISCLOSURE 2022



これからも地域とともに

もおしん

ディスクロージャー誌

令和4年度上半期 経営情報

(令和4年9月末現在)



経営情報 (半期情報の開示について)

地域の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

ここに令和4年度上半期(令和4年4月1日～令和4年9月30日まで)における経営情報をお知らせいたします。

主要勘定は預金積金が前年度末比で 2.97%増の98,907百万円に、貸出金についても 0.18%増の50,448百万円となりました。収益面でも、役職員一丸となって収益向上に努めた結果、当期純利益92百万円の計上となりました。

自己資本比率は当期利益を計上するも一般貸倒引当金が減少し自己資本が減少したことから、前期末より0.05ポイント低下の9.56%となりました。引き続き国内基準の4.0%を大幅に上回っており、健全な財務内容であります。

金融再生法開示債権比率は前期末より 0.4ポイント上昇し 3.47%となりましたが、担保や保証、貸倒引当金を計上しており、資産の健全性は十分に確保されております。

当組合はおかげさまで令和4年3月をもって、創立70周年を迎えることが出来ました。これもひとえに地域の皆さまをはじめ、関係各位の永年にわたるご支援ご協力の賜物と深く感謝しております。

今後も引き続き皆さまに信頼される金融機関としてお取引いただけるよう、経営努力を続けてまいります。

預金・貸出金の状況

(単位:百万円)

区分	令和4年9月末	(参考)令和4年3月末
預金残高	98,907	96,046
貸出金残高	50,448	50,356

損益の状況

(単位:百万円)

区分	令和4年9月末
業務純益	108
実質業務純益	108
コア業務純益	105
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	105
経常利益	109
当期純利益	92

自己資本比率(国内基準)

(単位:%)

	令和4年9月末	(参考)令和4年3月末
自己資本比率	9.56	9.61

貸出金業種別残高・構成比

(単位:百万円、%)

業種別	令和4年9月末		(参考)令和4年3月末	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	2,544	5.1	2,538	5.0
農業、林業	984	2.0	892	1.8
漁業	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—
建設業	6,545	13.0	6,759	13.4
電気、ガス、熱供給、水道業	6,928	13.7	6,731	13.4
情報通信業	12	0.0	4	0.0
運輸業、郵便業	1,767	3.5	1,790	3.6
卸売業、小売業	2,865	5.7	2,890	5.7
金融業、保険業	1	0.0	1	0.0
不動産業	7,416	14.7	7,578	15.1
物品賃貸業	—	—	—	—
学術研究、専門・技術サービス業	257	0.5	129	0.3
宿泊業	597	1.2	613	1.2
飲食業	571	1.1	585	1.2
生活関連サービス業、娯楽業	—	—	—	—
教育、学習支援業	113	0.2	125	0.2
医療、福祉	522	1.0	541	1.1
その他のサービス	3,671	7.3	3,495	6.9
その他の産業	413	0.8	456	0.9
小計	35,214	69.8	35,134	69.8
国・地方公共団体等	132	0.3	147	0.3
個人(住宅・消費・納税資金等)	15,101	29.9	15,074	29.9
合計	50,448	100.0	50,356	100.0

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

協金法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円、%)

区分	令和4年9月末	(参考)令和4年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,462	1,289
危険債権額	157	110
要管理債権	132	148
三月以上延滞債権額	—	—
貸出条件緩和債権額	132	148
小計(A)	1,753	1,548
保全額(B)	1,624	1,407
担保・保証額(C)	548	442
個別貸倒引当金(D)	1,076	955
一般貸倒引当金(E)	20	14
保全率(B)/(A)	92.6	90.8
引当率((D)+(E))/(A)-(C))	89.3	87.6
正常債権(F)	48,738	48,855
総与信残高(A)+(F)	50,491	50,403

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等により経営破綻に陥っている債権者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態に至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権(1に掲げるものを除く。)です。
3. 「要管理債権」とは、「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金(1及び2に掲げるものを除く。)です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債権者に有利となる取決めを行った貸出金(1、2及び4に掲げるものを除く。)です。
6. 「担保・保証額(C)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
7. 「個別貸倒引当金(D)」は、貸借対照表上の個別貸倒引当金のうち、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に対して個別に引当計上した額の合計額です。
8. 「一般貸倒引当金(E)」には、貸借対照表上の一般貸倒引当金のうち、「要管理債権」に対して引当てた額を記載しております。
9. 「正常債権(F)」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権(1、2及び3に掲げるものを除く。)です。
10. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未取利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は貸借契約によるものに限る。)です。

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

貸借対照表

(単位:千円)

科 目 (資産の部)	金 額	
	令和4年9月末	(参考)令和4年3月末
現金	742,673	860,764
預 け 金	62,430,572	63,863,909
買入金銭債権	100,000	200,000
有 価 証 券	26,284,876	26,721,160
地方債	1,348,184	1,362,880
社 債	14,010,049	13,916,476
株 式	120,500	120,500
その他の証券	10,806,142	11,321,304
貸 出 金	50,448,031	50,356,596
割引手形	26,682	34,473
手形貸付	4,238,145	4,150,011
証書貸付	44,439,721	44,530,609
当座貸越	1,743,481	1,641,501
その他の資産	642,988	667,048
未決済為替貸	3,187	7,540
全信組連出資金	455,000	455,000
前払費用	15,703	16,645
未収収益	133,420	138,001
その他の資産	35,677	49,861
有形固定資産	1,401,649	1,438,018
建 物	864,213	888,895
土 地	415,625	415,625
リース資産	2,465	2,739
その他の有形固定資産	119,345	130,758
無形固定資産	11,817	13,022
ソフトウェア	7,488	8,616
その他の無形固定資産	4,329	4,405
繰延税金資産	30,816	30,816
債務保証見返	18,689	20,952
貸倒引当金	△ 1,131,223	△ 1,150,695
(うち個別貸倒引当金)	(△ 1,056,432)	(△ 955,518)
資産の部合計	140,980,890	143,021,594

科 目 (負債の部)	金 額	
	令和4年9月末	(参考)令和4年3月末
預 金 積 金	98,907,569	96,046,735
当座預金	204,870	137,425
普通預金	42,641,459	40,734,706
貯蓄預金	177,500	174,837
通知預金	88,042	34,998
定期預金	50,311,378	49,239,888
定期積金	5,309,241	5,604,980
その他の預金	175,076	119,899
借 用 金	36,700,000	41,300,000
当座借越	36,700,000	41,300,000
その他の負債	117,084	132,205
未決済為替借	10,362	11,776
未払費用	22,794	24,913
給付補填備金	1,845	2,758
未払法人税等	13,504	25,785
前受収益	18,056	18,302
払戻未済金	—	225
職員預り金	14,894	12,141
リース債務	2,469	2,743
その他の負債	33,157	33,557
賞与引当金	46,566	47,132
退職給付引当金	86,464	95,894
役員退職慰労引当金	74,325	94,601
偶発損失引当金	19,028	16,351
睡眠預金払戻損失引当金	577	827
債務保証	18,689	20,952
負債の部合計	135,970,304	137,754,702
(純資産の部)		
出 資 金	560,126	559,594
普通出資金	560,126	559,594
利益剰余金	4,830,193	4,751,757
利益準備金	559,594	559,098
その他利益剰余金	4,270,598	4,192,658
特別積立金	4,000,000	3,965,000
当期末処分剰余金	270,598	227,658
組合員勘定合計	5,390,319	5,311,351
その他有価証券評価差額金	△ 379,733	△ 44,459
評価・換算差額等合計	△ 379,733	△ 44,459
純資産の部合計	5,010,586	5,266,891
負債及び純資産の部合計	140,980,890	143,021,594

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

損益計算書

(単位:千円)

科 目	令和4年9月末	(参考)令和4年3月末
経常収益	641,217	1,256,223
資金運用収益	584,498	1,134,123
貸出金利息	392,641	783,345
預け金利息	39,867	75,484
有価証券利息配当金	128,923	246,749
その他の受入利息	23,065	28,544
役務取引等収益	31,824	64,220
受入為替手数料	9,343	20,493
その他の役務収益	22,481	43,727
その他業務収益	3,419	57,275
国債等債券売却益	2,680	53,103
その他の業務収益	739	4,172
その他経常収益	21,474	603
貸倒引当金戻入益	19,471	—
償却債権取立益	752	122
その他の経常収益	1,251	480
経常費用	531,437	1,141,837
資金調達費用	16,314	27,403
預金利息	3,566	9,707
給付補填備金繰入額	342	867
借入金利息	12,332	16,676
その他の支払利息	72	151
役務取引等費用	39,940	82,871
支払為替手数料	4,162	9,487
その他の役務費用	35,777	73,383
その他業務費用	215	1,970
国債等債券売却損	203	286
国債等債券償還損	—	1,651
その他の業務費用	11	32
経費	455,265	908,996
人件費	269,084	562,367
物件費	160,401	316,465
税金	25,779	30,163
その他経常費用	19,701	120,595
貸倒引当金繰入額	—	104,784
株式等売却損	—	4,000
その他の経常費用	19,701	11,810
経常利益	109,779	114,386

科 目	令和4年9月末	(参考)令和4年3月末
特別利益	—	15
その他の特別利益	—	15
特別損失	0	17,785
固定資産処分損	0	299
減損損失	—	17,486
税引前当期純利益	109,779	96,615
法人税・住民税及び事業税	17,365	34,863
法人税等調整額	—	1,924
法人税等合計	17,365	36,787
当期純利益	92,414	59,828
繰越金(当期首残高)	178,184	167,830
当期末処分剰余金	270,598	227,658

金利リスク量

(単位:百万円)

IRRBB: 金利リスク			
項番		令和4年9月末	
		△EVE	△NII
1	上方パラレルシフト	1,606	46
2	下方パラレルシフト	0	0
3	スティープ化	1,495	
4	フラット化		
5	短期金利上昇		
6	短期金利低下		
7	最大値	1,606	46
8	自己資本の額	5,483	

△EVEとは金利リスクのうち、金利ショックに対する経済的価値の減少額として計測されるものを、△NIIとは金利リスクのうち、金利ショックに対する算出基準日から12ヵ月を経過する日までの間の金利収益の減少額として計測されるものです。

△EVEについて

令和4年9月末の△EVEで計測した銀行勘定の金利リスクは、規制で定められた3つのシナリオの内、上方パラレルシフトにおいて最大となり、自己資本5,483百万円に対し最大リスク量は1,606百万円となります。

△EVEの計測値は、当組合における自己資本比率や有価証券の含み損益等、他の経営指標とのバランスを総合的に勘案し、健全性に問題のない水準にあるものと判断しております。

(△EVE算出の前提)

流動性預金については、金利改定の平均満期は1.250年、最長満期を5年とし、流動性預金全体に占めるコア預金の割合は、金融庁が定める保守的な前提を採用しております。

固定金利貸出の期限前返済や定期預金の早期解約は考慮しておりません。

複数通貨の集計方法ですが、円金利のみを対象としております。

スプレッド及びその変動は考慮しておりません。また、内部モデルは使用しておりません。

△NIIについて

令和4年9月末の△NIIで計測した銀行勘定のリスクは、規制で定められた2つの金利シナリオの内、上方パラレルシフトにおいて最大となり、最大リスク量は46百万円となります。

(△NII算出の前提)

上記△EVE算出と同様の前提を用いております。

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

有価証券の時価等情報

満期保有目的の債券

(単位:百万円)

種 類	令和4年9月末			〈参考〉令和4年3月末			
	貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額	
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	社 債	300	302	2	500	507	7
	そ の 他	1,699	1,738	38	3,098	3,185	86
	小 計	1,999	2,040	41	3,598	3,692	93
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	社 債	807	750	△ 57	507	482	△ 24
	そ の 他	6,199	5,896	△ 303	4,799	4,676	△ 123
	小 計	7,006	6,646	△ 360	5,307	5,159	△ 148
合 計	9,006	8,686	△ 319	8,906	8,851	△ 54	

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 「社債」は事業債です。
 3. 上記の「その他」は外国証券です。

その他の有価証券

(単位:百万円)

種 類	令和4年9月末			〈参考〉令和4年3月末			
	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	—	—	—	—	—	
	債 券	5,702	5,654	47	9,048	8,955	92
	国 債	—	—	—	—	—	—
	地方債	1,161	1,152	8	1,165	1,152	12
	社 債	4,540	4,501	38	7,882	7,803	79
	そ の 他	494	490	4	1,102	1,086	15
小 計	6,196	6,144	51	10,150	10,042	108	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	120	120	—	120	120	—
	債 券	8,548	8,803	△ 254	5,223	5,301	△ 78
	国 債	—	—	—	—	—	—
	地方債	186	204	△ 17	197	204	△ 6
	社 債	8,362	8,599	△ 236	5,026	5,097	△ 71
	そ の 他	2,412	2,590	△ 177	2,320	2,394	△ 74
小 計	11,082	11,514	△ 431	7,664	7,816	△ 152	
合 計	17,278	17,658	△ 379	17,815	17,859	△ 44	

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 「社債」には政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。
 3. 上記の「その他」は外国証券と投資信託等です。

「経営者保証に関するガイドライン」への対応

当組合では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借り入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応する態勢を整備しています。経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。また、どのような改善を図れば経営者保証の解除の可能性が高まるかなどを具体的に説明し、経営改善支援を行っています。

●「経営者保証に関するガイドライン」の活用に係る取り組み事例(令和4年度上期)

1. 主債務者及び保証人の状況、事案の背景等
・ 該当法人は毎期黒字計上しております。自己資本も厚く業績は安定推移しております。また、資産状況については法人資産と個人資産が明確に分離されております。
2. 取り組み内容
・ 該当法人の決算状況・財務内容及び法人資産と個人資産の分離状況を勘案し、今後の取引については経営者保証を求めないこととしました。

●「経営者保証に関するガイドライン」の取り組み状況

	令和4年度上期
新規に無保証で融資した件数	160件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	30.02%
保証契約を解除した件数	1件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数(当組合をメイン金融機関として実施したものに限り)	0件

地域の活性化に関する取り組み状況

「しんくみ食のビジネスマッチング展」の協賛、「ものづくり企業展示・商談会」の共催を通じて取引先への参加活動を行っています。

また、平成25年9月、今後成長が見込まれる農林漁業の6次産業化へ取り組む「とちまる6次産業化成長応援ファンド」が設立され、構成機関として参加いたしました。

(注) 各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

■地域貢献

預金等を通じた地域貢献

既存の預金商品のほか、下記の商品もご用意しております。

●「70周年記念にここに定期」「70周年記念にここに積金」

おかげさまで令和4年3月10日をもちまして創立70周年を迎えることができました。感謝を込めて定期預金・定期積金の記念商品を販売しております。

おかげさまで創立70周年
「70周年記念にここに定期」
定期預金(1年)の店頭表示金利を25倍の金利とします!
店頭表示金利 25倍
ご契約期間 1年
販売期間 令和4年7月1日(木)から12月30日(木)まで
真岡信用組合
本行 (0285) 82-3401 傳 真 (028) 677-0138
宇都宮支店 (0285) 72-3221 傳 真 (028) 82-6311
河原野支店 (0285) 72-2503 傳 真 (0285) 85-0800
※詳しくは、最寄りの真岡信用組合本部までお問い合わせください。

おかげさまで創立70周年
70周年記念にここに積金
店頭表示金利 25倍
お取扱期間 令和4年9月1日(木)から12月30日(金)まで
ご契約期間 3年以上5年以内
商品概要
① 販売対象 個人または法人の店
② 契約期間 3年以上5年以内
③ 積入金額 毎月1万円以上10万円以内(積入単位:千円)
④ 返済金利 店頭表示金利の2.5倍
⑤ その他 一部給付・一部引出はできません。給付・引出は個人個人ではできません。本商品は現金預金制成品の取扱です。
真岡信用組合
本行 (0285) 82-3401 傳 真 (028) 72-3221
宇都宮支店 (0285) 72-3221 傳 真 (028) 82-6311
河原野支店 (0285) 72-2503 傳 真 (0285) 85-0800
※詳しくは最寄りの窓口または海外担当にお尋ねください。

融資を通じた地域貢献

中小事業者及び地域の皆さまの資金ニーズに円滑にお応えするために、各種ローンをご用意しております。

●職域提携企業向けローン

当組合と職域サポート契約をさせていただいた企業・事務所等にお勤めの皆さまへ優遇サービスを提供する取り組みです。

日頃お仕事を応援している皆さま、真岡組合がしっかりサポートします。
職域提携企業向け
対象商品
フリーローン
カーローン
奨学ローン
リフォームローン
目的ローン
当組合と「職域サポート契約」を締結している企業等に就業中の皆さまへ、当組合優待で年0.5%の優遇金利を適用いたします。
真岡信用組合

●もおしん教育カードローン

入学金や授業料のお支払い等、お子さまの教育資金のサポートをいたします。在学期間中は必要な時に必要な分だけお借入いただけます。ご融資金額は最高500万円まで、カードで出し入れでき大変便利です。

もおしん教育カードローン
ご融資金額 最高500万円
ご融資利率 固定年率 3.9%
いつでも簡単カードで出し入れ
真岡信用組合

地域サービスの充実

●もおしんインターネットバンキング、ペイジー(Pay-easy)

「もおしんインターネットバンキング」では各種取引照会、振込振替、総合振込、給与・賞与振込などに加え、「でんさいネット」もご利用になれます。セキュリティ対策も行っており、安心してご利用いただけます。また、ペイジー(Pay-easy)をご利用いただくと手数料無料で場所を選ばず簡単に税金や国民年金保険料、ネットショップでのお買い物の支払いができます。

もおしんインターネットバンキング
1. 簡単 2. 便利 3. 経済的 4. 安心
サービス内容のご案内
【各種取引照会】
【給与・賞与振込】
【振込振替】
【総合振込】
真岡信用組合

●国民年金基金とiDeCo(イデコ)

国民年金基金は自営業・フリーランスの皆さまの国民年金に上乗せする公的な年金制度です。税制優遇を受けていただきながら、老後の生活に備えることができます。iDeCo(イデコ)は自分で積み立てて、自分で育てる、公的年金へのの上乗せ年金です。国民年金基金、iDeCo(イデコ)への加入をご希望の皆さまは、最寄りの店舗にて加入受付を行っています。

人生100年時代の「プラス年金」
国民年金基金
自営業・フリーランスのみならず、これからの人生にプラス!
国民年金基金とは、自営業・フリーランスの方々のための、国民年金に上乗せする、税制優遇を受けながら積み立てる年金制度です。国民年金基金への加入は、最寄りの店舗にて行われます。

文化的・社会的貢献に関する活動

●「しんくみピーターパンカード」の寄付金を寄付

令和4年9月2日(金)、当組合と那須信用組合、全国信用協同組合連合会、(株)オリントコーポレーション、栃木県信用組合協会の5団体の協力で、「特定非営利活動法人そらいろコアラ」に22万円を寄付しました。



●「道路クリーン運動」の実施

令和4年9月3日(土)、真岡市及び芳賀郡内の清掃活動「道路クリーン運動」を役職員84名により実施しました。今後も清掃活動を継続し、地域の美化づくりに貢献してまいります。



●「愛の献血活動」の実施

令和4年9月6日(火)、本店駐車場において献血活動を行いました。当組合職員のほか、近隣住民の方からもご協力をいただきました。



トピックス

●独立行政法人中小企業基盤整備機構より感謝状を受贈

当組合は令和3年度の小規模企業共済加入実績において全国の信用組合の中で第2位の成績となりました。

これに対して独立行政法人中小企業基盤整備機構より3名が来組され、関東本部長の三澤様より感謝状の贈呈を受けました。当組合は引き続き中小企業基盤整備機構と連携し、さらなる小規模企業共済制度の普及に取り組んでまいります。



栃木県信用組合協会事業の取り組み

●「融資業務に関する情報交換会」の開催

令和4年7月7日(木)に当組合本店において那須信用組合と「融資業務に関する情報交換会」を開催しました。

融資業務に関する取り組みや方法などお互いの情報を交換し、地域の皆さまへ質の高いサービスを提供できるよう話し合いを行いました。



●「事業者支援力向上勉強会」の開催

令和4年9月13日(火)に那須信用組合と「事業者支援力向上勉強会」を那須塩原市乃木温泉ホテルにおいて宇都宮財務事務所、栃木県信用保証協会の後援により開催しました。金融庁監督局銀行第二課地域金融企画室室長補佐の渡辺様の基調講演や、「事業者支援に関する課題と何ができそうか」をテーマにディスカッションを行い、事業者支援の課題を共有しスキルアップを図りました。



●「女性職員情報交換会」の開催

令和4年9月27日(火)に那須信用組合本店において女性活躍の方向性を探る初の会合「女性職員情報交換会」を開催しました。

当日は両信組の女性役職員のこれまでの実績や活動報告などを発表しました。当組合では今回の会合で得た情報や意見をもとに委員会を発足し、女性が活躍する環境をさらに整備して男女別なく活躍できる組織風土を構築していきます。



店舗一覧 (令和4年10月末現在)

金融機関コード：2122



本店営業部

店舗コード:002

〒321-4361 栃木県真岡市並木町1-13-1
TEL.0285-82-3401 FAX.0285-84-7007
ATM:2台



益子支店

店舗コード:003

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子2000-1
TEL.0285-72-3221 FAX.0285-72-4571
ATM:2台



七井支店

店舗コード:004

〒321-4104 栃木県芳賀郡益子町大沢19-1
TEL.0285-72-2503 FAX.0285-72-6615
ATM:2台



芳賀支店

店舗コード:005

〒321-3307 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井南3-8-1
TEL.028-677-0138 FAX.028-677-3934
ATM:2台



長田支店

店舗コード:006

〒321-4364 栃木県真岡市長田2-16-5
TEL.0285-82-6311 FAX.0285-82-6882
ATM:1台



荒町支店

店舗コード:007

〒321-4305 栃木県真岡市荒町1080-1
TEL.0285-85-0800 FAX.0285-85-0805
ATM:2台

ちかくにいるから、
チカラになれる。



〒321-4361 栃木県真岡市並木町一丁目13番地1

TEL : 0285-82-3496 FAX : 0285-83-5155

ホームページ : <https://www.moka.shinkumi.jp/>